

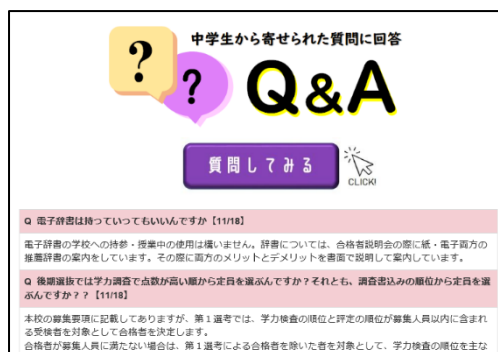
校種	( ) 小学校 ( ) 中学校 ( ) 義務教育学校 (○) 高等学校 ( ) 特別支援学校
学校名	熊本県立第一高等学校
実践事例タイトル	学校CMSを活用した「中学生向け特設ページ」の開設
テーマ	( ) 授業でのICT活用事例 (○) 校務でのICT活用事例 ( ) 情報モラル教育の実践事例 ( ) その他
活用した機器等	校務用PC、YouTube、GoogleClassroom、Microsoft Forms

## 1. 実施の概要

新型コロナウイルスの影響で、毎年7月に行われる中学生向けの学校説明会（オープンキャンパス）が中止となった。本校では例年、生徒が英語による学校紹介のプレゼンテーションを行ったり、全体会后に分科会を開き、出身中学校の先輩に直接話を聞いたりするなど、生徒が主体となった学校説明会を実施している。毎年2000名近くの中学生（保護者）が来校する大きなイベントとなっているため、その代替りとなるものを検討した。

## 2. ICT活用の視点

本校は学校CMSを利用しており、1日平均300件（多いときには500以上）のアクセスがあり、コロナ禍においてより一層学校ホームページの注目度が高まったと考える。そこで、本校生徒の「主体性」と「双方向性」を重視し、ICTを活用した中学生向けの新しい学校紹介の形を検討した。具体的には ①「Forms」で学校に関する質問窓口を開設 ②紙媒体の学校案内パンフレットに「Forms」のリンクQRコードを掲載する（同時にHPのトップに掲載）③寄せられた質問を生徒会（または教員）各部門で回答 ④HP上で回答を掲載 という流れとなる。生徒会が質問回答するものについては「GoogleClassroom」を活用して生徒の回答を収集し、生徒の負担（紙で記入、集めてデータ入力するなど）が掛からないよう工夫。また、HP上には「中学生向け特設ページ」として質問の回答だけでなく、生徒会が撮影をした動画コンテンツや、部活動紹介記事（全部活動が更新）、コロナ禍で少なくなった学校行事の写真なども積極的に投稿し、本校のアピールポイントでもある「生徒の主体性」を発信している。<https://sh.higo.ed.jp/dai1sh/>（第一高校HP）



### 3. ICT活用の効果

紙媒体のパンフレット配布開始直後から質問が寄せられており、3ヶ月で40件程度（11月現在）と活用の効果が見られた。中には中学生にしかない視点の質問もあり、ICTの活用による「匿名性」や「双方向性」の利点に加え、質問の集計後すぐに発信ができるという「即時性」を感じられた。

また、紙媒体のQRコードからの受付だけではなく、学校CMSのトップにも特設ページ入口を設けたことでアクセシビリティも向上した。スクールカラーを活用した画面構成や、オリジナルの素材を作成するなど、CMSの活用による視覚的な楽しさで本校の魅力を伝えることができた。また、YouTubeの埋め込みで様々な動画を掲載したことで、生徒の生き生きとした姿を伝えることができ、実際に生徒会の生徒が丁寧に質問に答える「主体性」のアピールにもつながった。



図 特設ページ入口

### 4. 今後の展開

「中学生向け特設ページ」については、学校説明会に代わるものとして開設されたため、今後は第一高校の魅力を「地域」や「保護者」に発信できるような新しい形を検討していきたい。そのためには、必要な動画や画像の素材を担当者以外も積極的かつスムーズに提供できる教員間のシステム構築や、生徒が主体となって発信できるような学校CMSの活用方法を見いだしていきたい。



図 特設ページトップ